

旭川圏CKD重症化予防対策の体制構築

STEP1 課題認識:

現場の声(専門医、非専門医、患者、住民、医療関係者、保険者等)の収集

※可能な限り多く負の意見を聞くことも意識

STEP2 軸となる目標を簡潔に端的に言語化:

旭川圏(旭川市及び周辺9町)の目標:糖尿病性腎症重症化予防プログラムを軸に、CKD診療体制を構築する

STEP3 目標を達成するために必要な体制の立案:

旭川圏の課題を解決し目標を達成するために立案された体制

- ① 圏域全体の住民を対象とするため、旭川市庁内に会議体の設置 → 旭川圏糖尿病性腎症重症化予防協議会設置
- ② 地域住民に接する機会が多いかかりつけ医へのCKDの知識啓発や逆紹介ができる体制構築 → 旭川圏腎臓内科紹介基準の作成
- ③ (特に非腎臓専門医への)多職種による診療サポート体制(かかりつけ医での生活食事指導) → 多職種連携体制構築
- ④ CKD早期診断の重要な糸口である健診結果を利用した疑い患者抽出と的確なCKD診断体制構築 → 旭川圏国保との連携体制構築
- ⑤ 住民やかかりつけ医が求める医療の提供が可能な腎臓専門医の明示 → 市内腎臓専門医のリスト化

STEP4 各体制構築の現実化へ向けて体制整備の順番を立案:

体制整備順の決定は、関係諸団体との関係性や地域の現況も考慮する

STEP5 実現へ向けた行動開始: 詳細は次頁以降 ①～⑤

① 旭川圏糖尿病性腎症重症化予防プログラム策定までの経過

- 2016年8月 旭川医科大学・中川直樹が、保健活動を考える自主的研究会(上川町・松川洋子氏ら)と地域の保健活動の課題について意見交換
- 2016年10月 菱田明先生(焼津市立総合病院・名誉院長、第10代・日本腎臓学会理事長)、中川直樹が上川管内市町村自主的研究会「CKD重症化予防の実現に向けて」に参加し、上川管内市町村保健師・栄養士と意見交換
- 2017年6月 旭川圏の保健師・管理栄養士が学習会「CKD重症化予防を目指した医療連携を考える会」に参加
→ **周辺9町に本プログラムの参加を打診**
- 2017年7月 旭川腎臓病協議会(旭川市内の腎臓専門医で構成、会長:中川直樹)発足
- 2017年8月 旭川市医師会及び上川郡中央医師会へ説明
- 2017年9月 第1回旭川圏糖尿病性腎症重症化予防協議会の開催
【構成機関】○行政機関:旭川市、上川町、愛別町、当麻町、美瑛町、東神楽町、東川町、鷹栖町、比布町、幌加内町、大雪地区広域連合、上川保健所
○医療関係団体:旭川市医師会, 上川郡中央医師会
○専門医療団体:旭川腎臓病協議会, 旭川地区糖尿病地域連携協議会
- 2017年11月 作業部会の開催
- 2017年12月 第2回旭川圏糖尿病性腎症重症化予防協議会の開催 → **プログラムの策定!**

② 旭川圏糖尿病性腎症重症化予防協議会設置

2017年12月に旭川市医師会、上川郡中央医師会、旭川地区糖尿病地域連携協議会等の専門医療団体及び周辺1市9町等の行政機関で「旭川圏糖尿病性腎症重症化予防協議会」(事務局:旭川市福祉保険部国民健康保険課)を開催し、旭川圏糖尿病性腎症重症化予防プログラムを作成した。本プログラムは、

- 1.糖尿病未治療者への受診勧奨
- 2.医療機関通院者への保健指導
- 3.かかりつけ医と専門医との連携

を主な内容とし、KDBシステムを用いて対象者を抽出している。

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/135/171/174/d064245.html>



③ 多職種連携体制構築(市町村の保健師・栄養士)

第1回旭川圏糖尿病性腎症重症化予防協議会にて、行政の保健師・栄養士の糖尿病性腎症重症化予防における知識の向上、保健指導のスキルアップを目的に、旭川市内の腎臓専門医・糖尿病専門医との定期的な勉強会(講師によるガイドライン解説、グループワークによる事例検討)を開催することが決定された(年1-2回の対面形式 [コロナ禍はWEB])。



④ 多職種連携体制構築(薬剤師会)

2023年7月、旭川腎臓病協議会、旭川市医師会、旭川薬剤師会で協議し「おくすり手帳」を利用した「CKDシール」を旭川市内で行うことを決議した。<https://amc1nai.net/wp/wp-content/uploads/2023/07/kcd-for-patients.pdf>

市内調剤薬局でも「CKDシール」を添付場所とすることを薬剤師会にご理解をいただいた。



⑤ CKD重症化予防対策に協力する腎臓専門医のリスト化

早期での腎臓専門医への紹介を推奨しているにもかかわらず、専門医から透析直前での紹介を勧められる事例があり、また「実際どこに紹介すれば良いかわからない」というかかりつけ医からのご意見もあり、旭川市内の腎臓専門医在籍施設をリスト化し、旭川地区糖尿病地域連携パスのHP (https://www.jds.or.jp/modules/hokkaido/index.php?content_id=10) で公表し、また令和6年度に採択され慢性腎臓病(CKD)重症化予防のための診療体制構築及び多職種連携モデル事業

(https://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/newstotics/single/post_580.html)の一環として、CKD患者紹介基準・腎臓専門医リストの資料を作成(右図)し、旭川市内の全医師会員へ配布を行う予定である。

患者様説明用

腎臓からの SOS を見逃していませんか？

慢性腎臓病 (CKD) を知っていますか？
腎臓の機能が低下した状態や尿蛋白陽性が持続する状態を慢性腎臓病 (以下 CKD という) と言います。CKD は症状がありません。そのため放置してしまうと徐々に腎臓の機能が悪くなり、むくみや貧血が進み、さらに進行すると透析が必要になります。

| 尿 | 尿蛋白 (1+) 以上 | 腎臓 | eGFR 60未満 |
|--------------------------|-------------|-----------------------------------|-----------|
| 腎臓に障害を受けると、尿に蛋白が漏れ出てきます。 | | eGFRは、腎機能がどの程度残っているかを推定することができます。 | |

上記いづれかにあてはまる場合
検査結果を持参し、医療機関を受診しましょう！

腎臓専門医が在籍する医療機関

| 病院名 (担当科) | 〒 | 住所 | 電話 | 日本腎臓学会 腎臓専門医名 |
|-----------------------|----------|-----------------|---------|--------------------------|
| 旭川医科大学病院 (腎臓内科) | 078-8510 | 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 | 65-2111 | 中川 直樹 松本 孝樹 佐久間 寛史 |
| 旭川医科大学病院 (小児科) | 078-8510 | 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 | 65-2111 | 佐藤 雅之 |
| 旭川赤十字病院 (腎臓内科) | 070-0061 | 旭川市曙1条1丁目1-1 | 22-8111 | 小林 広学 宮森 大輔 平山 智也 |
| 医療法人仁友会 北彩都病院 (内科) | 070-0030 | 旭川市宮下通9丁目2-1 | 26-6411 | 和田 篤志 橋本 裕之 |
| 市立旭川病院 (腎臓内科) | 070-0029 | 旭川市金輪町1丁目1-65 | 24-3181 | 藤野 貴行 |
| JA北海道厚生連 旭川厚生病院 (小児科) | 078-8211 | 旭川市1条通24丁目111-3 | 33-7171 | 高橋 弘典 |
| 医療法人社団慶友会 吉田病院 (内科) | 070-0054 | 旭川市4条西4丁目1-2 | 25-1115 | 石黒 俊哉 |
| 旭川リハビリテーション病院 (内科) | 078-8801 | 旭川市緑が丘東1条1丁目1-1 | 65-0101 | 丸山 啓介 |
| 道北勤医協一光通病院 (内科) | 078-8341 | 旭川市東光1条1丁目1-17 | 34-2111 | 松久 優雅 |

日本腎臓学会ホームページ (2024年7月30日現在) より